

(別記様式)

令和 8 年度 京都府立朱雀高等学校 通信制課程 学校経営計画(スクールのマネジメントプラン)( 計画段階 ・ 実施段階 )

学校経営方針(中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
<p>1 生涯学習と社会的自立の基盤となる基礎学力を身に付け、社会に主体的・自律的に参画できる心豊かでたくましい人間の育成を目指す。</p> <p>2 生徒の期待に応え、生徒の多様性が尊重される学校体制を作るとともに、生徒自身が将来に展望をもち、学び続けられる「生徒本位」の学校づくりに取り組む。</p>	<p>1 多様な生徒が在籍している現状を鑑み、ICTを活用した連絡等の効率化を実施した。</p> <p>2 生徒の単位修得と卒業に向けて、教職員全体で、指導方法及び制度改革の一部改善が進んだ。</p> <p>3 教職員全体で特別支援教育に係る理解を一層深める研修を実施するとともに、学習に係るUD化に努めた。</p>	<p>1 ICT機器を活用した効果的指導方法の改善について研究するとともに具体化を進める。</p> <p>2 ユニバーサルデザインを基調とし、多様な生徒が学びやすい指導方法、レポート(課題)、テスト等の改善を継続する。</p> <p>3 全日制、定時制、通信制の3課程の生徒が交流し、相互理解と学びの機会となる取組を推進する。</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	成果と課題
1 組織・運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営方針に即した組織や体制を整え、学習指導の充実、改善に努める。</li> <li>・通信制課程の特色を外部に発信する広報活動の拡充を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営計画に基づき、分掌・担任・教科が連携して、具体的な取組を実施することで、教育活動の充実に努める。</li> <li>・本校通信制課程の特色について入学希望者の理解が深まるよう説明動画を活用した広報を行う。</li> </ul>	
2 教育課程の編成と実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信制、単位制の特色を生かし、多様な生徒それぞれの能力・興味・関心に応じた選択科目を設置する。また、多様な学習履歴を持つ転編再入学生の学習が円滑に進むような教育課程の編成を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎力の充実に主眼を置いた科目と特色ある科目をバランス良く設置し、生徒の要望に応える。</li> <li>・特色ある教育課程の編成を前提に、本人の能力適性を見極め、生徒自身が主体的に受講科目登録をできるように指導する。</li> </ul>	
3 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が自ら学び自ら考える力を培うことを基本とし、生徒の学習進捗状況を把握しながら個に応じた適切な指導ができるガイダンス機能を整える。</li> <li>・基礎学力の定着を主眼に置いたレポート作成やスクーリング指導の充実を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習方法の助言をオンデマンド又はオンラインで発信する等、生徒の学習意欲を高めることができる発信方法を工夫する。</li> <li>・「学習ガイド」の内容を生徒が理解しやすいような内容になるよう継続的に改善する。</li> <li>・学習内容の定着に重点を置き、かつユニバーサルデザインを徹底したレポートやテスト作りに取り組む。</li> <li>・オンラインを活用したスクーリング、レポートの在り方を研究する。</li> </ul>	

評価領域	重点目標	具体的方策			
4 生徒指導	・様々な年齢層の生徒、支援を必要とする生徒、仕事や家庭と学習の両立を図る生徒など、多様な生徒の学校生活が充実するように援助する。	・よりよい学習環境づくりを推進するため、全教職員で登下校時に校門立哨指導を実施する。 ・全教職員で放課後の校舎内外の清掃等を全てのスクーリング日、テスト日で実施する。			
5 特別活動	・生徒会活動や学校行事、部活動、人権学習などを通して、相互交流を促し、生徒が学校生活に慣れ親しみ、積極的に学習に取り組める環境となるよう指導、支援する。	・生徒会活動においては、行事の企画・運営等について生徒が協力しながら自主的に企画・運営できる能力を育成する。			
		・部活動においては、健康面と安全面に十分配慮しつつ、共通の興味や関心に基づく活動が継続できるよう支援する。			
		・特別活動を通じて、生徒の自主性・自立性を高め、互いを尊重する態度を涵養することで、生徒が充実した学校生活を送れるよう、指導・援助する。			
6 人権教育	・生徒一人ひとりの人権意識を高め自他を個人として尊重する姿勢や態度を育成する。	・身近な人権問題を中心テーマに設定した学習会を実施し、一人ひとりの尊厳と人権を尊重する教育の推進を図る。			
7 進路指導	・生徒一人ひとりの希望する進路や適性、学力を丁寧に把握し、多様な機会を通して進路に関する情報を提供することで、それぞれの進路実現を支援する。	・進学説明会や就職説明会、就職セミナーを実施し、生徒一人ひとりの希望する進路の実現と社会的自立を支援する。 ・ハローワークや京都自立就労サポートセンターとの連携を通じて、就職指導の一層の充実を図る。			
	・生徒が自ら進路について考え、望ましい職業観や勤労観を身につけつつ、自身の進路実現に向けて主体的に行動する姿勢を育成する。	・学年部と密接に連携しながら情報共有を図り、個別相談および個別指導の充実に努める。 ・「朱雀だより」を活用し、生徒の進路意識の向上を図る。			
8 健康 安全教育	・心身の健康を生徒が自ら管理できるように支援するとともに、生徒の安全管理に努める。	・配慮や特別な支援が必要な生徒の実態把握に努めるとともに、教職員の共通理解を図り、必要な支援を実施する。			
		・「朱雀だより」による情報発信を通じて、生徒自らの健康自己管理能力の増進を図るとともに、心身の健康の保持と増進の啓発に努める。			

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬物乱用防止学習会を7月に実施し、生徒が薬物の害毒を身近な問題と捉えるとともに、誘惑に負けない対処法を身につけるよう指導する。</li> <li>・定期環境衛生検査、北校舎1階の校内安全点検を実施し、生徒の安全を管理、安心して学習できる環境づくりに努める。</li> </ul>			
9 研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種研修会を通じて、教職員の資質を高めるとともに、教育活動に活かすことのできる実践的な研修内容を検討する。</li> <li>・卒業者数、単位修得者数の増加に向け課題解決に資する研修を企画する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分掌が企画する教職員研修会を企画し、その実施・運営・充実に努める。</li> <li>・特別支援教育校内委員会等を通じて、生徒理解を進めるとともに適切な支援を学び、教育実践につなげる。</li> <li>・全国、近畿の通信制研究会の研修会等に参加し、通信制課程の教育の在り方について理解を深める。</li> </ul>			
10 家庭・関連機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な情報発信による開かれた学校づくりを推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「朱雀だより」の発行やホームページの更新を通じて情報発信を行うとともに、生徒の使用しているアプリの有効活用を推進する。</li> <li>・福祉関係機関や児童相談所等の関係機関と連携し生徒が卒業に向けて積極的に学習活動に集中できるよう支援する。</li> <li>・個別相談の要望に極力応え、通信制課程への理解が深まるよう広報に努める。</li> </ul>			
学校運営協議会・評価委員会による評価					
次年度に向けた改善の方向性					

A:十分に達成できている B:ほぼ達成できている C:達成できているとはいえない D:ほとんど達成できていない